

# オーストラリア4カ国大会 2017 (メルボルン/オーストラリア)

大会名	International Festival of Hockey Melbourne	日付	2017年11月12日
場所	State Netball and Hockey Centre	天候	晴れ
試合	第4戦 (決勝戦)	通算結果	1勝2敗1分

Country	RESULT	Country																
オランダ The Netherlands	5	0 日本 JAPAN																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 10%;">1P</td> <td style="width: 10%;">0</td> <td style="width: 10%;">-</td> <td style="width: 10%;">0</td> </tr> <tr> <td>2P</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3P</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4P</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> </table>			1P	0	-	0	2P	1	-	0	3P	2	-	0	4P	2	-	0
1P	0	-	0															
2P	1	-	0															
3P	2	-	0															
4P	2	-	0															

Start	No.	Name	備考
✓	5	PHENINCKX Malou	
✓	6	LEURINK Laurien	
✓	7	de WAARD Xan	
	31	KEETELS Marloes	C
✓	9	DIRKSE van den HEUVEL Carlien	
✓	10	JONKER Kelly	
	2	WELTEN Lidewij	
	5	van MAASAKKER Caia	
✓	15	MATLA Frederique	
✓	17	van den ASSEM Ireen	
✓	18	SANDERS Pien	
	2	NUNNINK Laura	
✓	21	STAM Lauren	
	16	KONING Josine	GK
✓	23	van GEFFEN Margot	
		de GOEDE Eva	
	2	KREKELAAR Maartje	
✓	30	REMMERSWAAL Julia	GK
ヘッドコーチ		ANNAN Alyson	
UMPIRE		BEFORT Maggie (USA)	

Start	No.	Name	備考
	31	景山 恵	GK
✓	2	内藤 夏紀	
	5	一谷 麻実	
	4	8	真野 由佳梨
✓	9	永井 友理	
✓	10	永井 葉月	
✓	11	野村 香奈	
✓	12	及川 菜	
	4	13	狐塚 美樹
	4	14	瀬川 真帆
✓	16	辻井 紫歩	
✓	17	一谷 奈歩	
✓	19	金藤 祥子	
	4	20	清水 美並
✓	23	田中 泉樹	
✓	24	西永 優衣	
✓	31	赤谷 衿香	GK
	3	32	湯田 葉月
ヘッドコーチ		アンソニー ジェイムス ファリー	
UMPIRE		WOOLF Katrina (NZL)	

Country	Min	Name	Action	Score
NED	27	JONKER Kelly	PC	1-0
NED	37	WELTEN Lidewij	FG	2-0
NED	45	PHENINCKX Malou	FG	3-0
NED	48	KEETELS Marloes	PC	4-0
NED	51	JONKER Kelly	FG	5-0

Country	Min	Name	Action	Score

第1Q、決勝戦は、再び世界ランキング1位のオランダとの対戦。前回のプールマッチ戦で自分達らしいホッケーをできなかった悔しさをバネに、今回ははじめから全力集中して試合に臨む。日本は、前回のオランダ戦から持ち前の前線でのプレスを修正し、オランダのアウトレットに対して狙いをもって強くプレッシャーをかけるが、しばらくは、両チームとも決定的なチャンスを作れず、一進一退のゲーム展開が続く。

第2Q、先手を打ったのは日本。21分にPCを獲得。それを#11野村が右下に鋭いドラッグフリックを放つが、わずかに棒を外れる。今度は、オランダにチャンスが訪れる。27分、右サイドの深い位置から折り返してからのリバースヒットのセンターリングに、#10 JONKERが一瞬の間隙をついてDFの前に出て鮮やかなタッチシュートを決める。しかし、日本もすぐにPCを獲得。これを#10永井葉月がストレートのヒットを狙いすましてポストマンのサイドにシュート。明らかにボールはポストマンの足に当たっていたが、アンパイアのホイッスルは鳴らず、選手が抗議するも受け入れてもらえず。

第3Q、日本は、ハーフタイムで攻撃局面での前線でのローテーションとスペース作りの確認を行う。日本は最初からチーム全体としてアグレッシブに動き、相手に思うように前線にボールを出させない。しかし、37分には、右サイド45度あたりからブッシュでゴール前に流し込まれ、混戦の中のリバウンドを#12WELTENがリバースヒットで押し込み、追加点を許してしまう。その後、日本も果敢に攻め、PCを連続して獲得するが、相手の好守に阻まれゴールを決めることができない。ここで、再びオランダに流れが移る。45分、再び#12WELTENがセンターライン付近からハイスピードでドリブルしてサークルインし、リバースヒットでセンターリング。それを、GKが一度セーブするが、その弾いたボールを#5PHENINCKXがリバウンドを直接ヒットしゴールを決める。

第4Q、何としてもゴールが欲しい日本は果敢に攻めるが、なかなかビルドアップしていくことができない。オランダは、守備から攻撃への速いトランジションをきっちり行い、じわじわと日本のDFにプレッシャーをかけてくる。日本もいち早く守備の修正をしたいところであるが、オランダの勢いを止められず、48分にはPCから、51分にはFGから追加点を許してしまう。日本は、自分達らしいホッケーを最後までやり通すために、ピッチ上の選手たちもベンチからの選手たちも全力を尽くすが、残念ながら0-5で試合終了。準優勝でこの大会を終えることとなった。

日本は、この後、アデレードに場所を移し、オーストラリア代表との3試合のテストマッチシリーズに臨む。

オランダ	11	PC数	5	
	8	シュート数	0	日本